

味方はわずか



המאמר

X-MEN

[illegible]

www.foxjapan.com

ワンダ・シナ



DOLBY DIGITAL
 20th CENTURY FOX

全米歴代No.1大ヒット! 新記録樹立。

SFライブ・アクション・スーパーヒーロー
進化の象徴

X-メン

<スタッフ>

監督……………ブライアン・シンガー

製作……………ローレン・シュラー・ドナー

ラルフ・ウィンター

撮影……………ニュートン・トーマス・シーゲル

音楽……………マイケル・ケイメン

<キャスト>

ウルヴァリン……………ヒュー・ジャックマン

プロフェッサーX……………パトリック・スチュワート

マグニートー……………イアン・マッケラン

ジーン・グレイ……………ファムケ・ヤンセン

サイクロップス……………ジェームズ・マーズデン

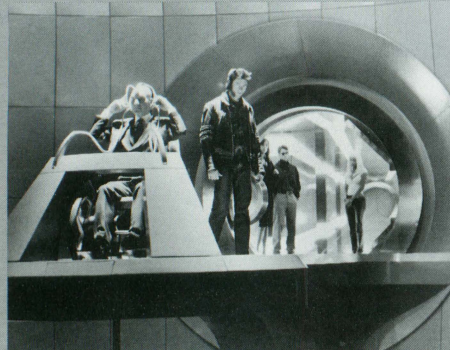
ストーム……………ハル・ベリー

ローグ……………アンナ・パキン

セイバートゥース……………タイラー・メイン

トード……………レイ・パーク

ミスティーク……………レベッカ・ローミン=ステイモス



全米熱狂、驚異のエンターテインメント! 「X-メン」ブーム ついに日本上陸!

アメリカ文化の歩みと共に、数々のヒーローを誕生させてきたマーヴェル・コミックス。「スーパーマン」「バットマン」など個性的なキャラクターの中でも、1963年の初登場以来、アメリカ国民に最も深く長く愛され続けてきたヒーロー「X-メン」。40年余りの間、映像化が待ち望まれてきたこの作品が、ついにスクリーンにその全貌を現したのです!

映画「X-メン」は2000年7月14日の全米初登場で、BOX OFFICEの第一位(興収54,471,475ドル)に輝き、10日間で1億ドルを突破するサマー・シーズンの大ヒット作品となりました。さらに、4億冊に及ぶコミックの大ベストセラーと関連フィギアの爆発的なヒットで、「X-メン」は今や、「スター・ウォーズ」と並ぶ一大ムーブメントを築いたのです。そして、アメリカを呑み込んだビッグ・ウェブが、ついに日本にも押し寄せようとしています。この秋、我々は「驚異のエンターテインメント」を目の当たりにするのです。

リアルな人間ドラマに支えられたスーパーヒーロー・アクションの新たな地平!

「ユー・ジュアル・サスペクツ」(95)、「ゴールデンボーイ」(99)で、その才能を高く評価された若手32歳の鬼才・ブライアン・シンガー監督。「X-メン」の監督依頼を受けた彼は、原作のバックナンバーとキャラクターの背景を徹底して読み込むことで、ストーリーに人間ドラマとしての厚みを加え、独自のリアリティを持たせることに成功しました。「彼らはみんな不本意なスーパーヒーローなんだ。素晴らしい特殊能力を持っていることが短所や欠陥、あるいは弱点にもなっている。そのことが、彼らに人間らしさを与え、キャラクターに深みを加え、彼らの冒険をよりエキサイティングにしている」とシンガー監督は語ります。「X-メン」は超人的なヒーローのドラマではなく、むしろ、人と異なることで痛みや苦しみを抱える「彼ら」が、自らの存在価値を見出すドラマなのです。そこには、人種問題やイジメ問題という現実根ざす真摯なテーマが描かれています。

スタイリッシュ・アクションと最新鋭SFXとの遭遇!

シンガー監督は、原作の魅力を十分引き出した上で、映画オリジナルの世界観を作り上げています。コミック版のキャラクターはそれぞれに個性的なコスチュームを身につけていますが、映画版では黒のレザー・スーツに統一することで、チーム・カラーを打ち出し、実写ならではのリアリティを持たせています。さらに、ハイ・テン



ポなカット割りやブルーとメタリックを印象的に配した画面構成が、作品全体にクールでスタイリッシュなタッチを演出しています。そして、ミュータントたちの特殊能力を映像化するために欠かせないVFX(ビジュアル・エフェクツ)には、「タイタニック」を手掛けたデジタル・ドメインをはじめハリウッド有数のSFX工房数社が最新技術を結集。原作ファンにして「映像化は困難」といわれた迫真の超能力バトルを見事スクリーンに結実させました。シンガー監督の洗練された映像センスとハリウッドの優れたSFXチームとの遭遇がこれまでにない全く新たなスタイリッシュ・アクションを誕生させたのです。

進化か? 科学の変種か? ミュータント—それは、人類の脅威!

望まずして特殊能力を身につけたミュータント。人類との共存を望むプロフェッサーXによって組織された「X-メン」は、人類抹殺を企むマグニートーとの壮絶なバトルを展開します。それぞれに異なる能力と悩みを抱えるミュータントを演じるのは、個性豊かな俳優陣です。本作がハリウッド・デビューとなるオーストラリア出身のヒュー・ジャックマン、「洗脳」のジェームズ・マーズデンのニュー・フェイスをはじめ、「007/ゴールデン・アイ」でボンドガールを演じたファムケ・ヤンセン、「ピアノ・レッスン」でアカデミー賞助演女優賞を受賞したアンナ・パキン、「エグゼクティブ・デジション」のハル・ベリー、さらに「スター・ウォーズ/エピソード1」のレイ・パーク、スーパーモデル出身のレベッカ・ローミン=ステイモス、元プロレスラーのタイラー・メインなど、彼らを支えるのは、TV「新スタートレック」のピカード艦長でおなじみのパトリック・スチュワートと、「ゴールデンボーイ」でもシンガー監督と組んだイアン・マッケラン。ロイヤル・シェイクスピア劇団出身の名優二人が、ストーリーに重厚な味わいを加えています。



10月7日(土)ロードショー!
特別鑑賞券(一般券1600円/ペア券3000円)好評発売中!

有楽町マリオン11F

日本劇場

渋谷道玄坂・109前

渋谷シネタワー

03(3574)1131

03(5489)4210

*日本劇場/渋谷シネタワーは定員入替制でございます。事前に混雑状況をご確認の上ご来場下さい。

全米No.1大ヒット!

彼は 完璧な夫だった

たった一度の過ちを

犯すまでは。

ハリソン・フォード ミシェル・ファイファー

ホワットライズビニース

WHAT LIES BENEATH

ロバート・ゼメキス 監督作品

20世紀フォックス映画 AND ドリームワークス・ピクチャーズ提供 脚本クラーク・グレッグ 監督ロバート・ゼメキス

DREAMWORKS PICTURES

特殊視覚効果ニュー・ピクチャーズ・イメージワークス社 DOLBY DIGITAL © 2001 20th Century Fox Film Corporation



12月、日本劇場他全国ロードショー